



新富士見橋

七夕まつり

平成22年8月7日(出)・8日(日)に「入間川七夕まつり」が開催されました。消防団活動としては、例年通り巡回・定点警備や初日に行われる花火大会の警戒など、お祭りの安全な運営に協力しました。

また、昨年から消防団PR活動の一環として、七夕飾りの出展や社会福祉協議会の駐車場にブースを設置し、消防団活動の紹介や、子供用防火衣を着て消防車に乗り写真撮影をするなど、子供達やご家族の方々の防火意識の向上を図るとともに、消防団活動を市民の皆様を知っていたべく機会となりました。

防災訓練

平成22年8月28日(出)飯能市名栗地区における大地震の発生と台風の接近を想定した狭山市総合防災訓練が市内5箇所の小中学校と74箇所の自治会個別会場にて行われました。

私たち消防団員は、三角巾を用いた応急処置訓練や水消火器を使った初期消火訓練、毛布などで担架を作る搬送訓練などの指導を担当しました。当日は気温35度を超える厳しい暑さの中でしたが、多くの市民の皆さんが参加され、熱心に質問する場面も見られ、防災に対する関心度の高さを感じられました。



柏原地区 柏原中学校会場にて

特別寄稿 消防団員の家族として

伊藤 真理子



「ウーウー」夜中、消防小屋のサイレンが鳴ると、飛び起きます。すぐ近くに小屋があるため、地面が震えるような低い音が体に伝わり、普段ほとんど夜中に目覚めることのない私もこの音が聞こえると、パツと目が開き、気持ちが引締ります。主人もすぐに起き、素早く支度をします。

「いつてらっしゃい。気をつけてね。」心から思います。このようなことが、結婚以来もう何回あったでしょうか。「自分が生活している地域の安全を守り、何よりも人とのつながりができ、それに自分自身を鍛えることにもなる。」と主人は言っています。私も、今まで幸せに生きてこられたのも、周りの人あってのことだと思っておりますので、「住んでいる人がお互いに自分のできることを無理なくやっていくのが地域活動。」と考えています。お陰様で、主人と私は、消防団の活動を通して、本当に多くの方々にお世話になり、また知り合うことができ、たくさんのお話を学ばせていただきました。また、主人は、本業との両立のため時間を有効に使うことが自然に身についたようです。時間には、とても厳しいです。(他にも、色々厳しいですが...)。

消防団は、地域の人々の生命や財産を守る大切な任務を任されています。私は、これからも消防団員の家族として、陰ながらその活動を支えていこうと思っています。

お知らせ

平成22年11月27日(出)に狭山市消防団特別点検が、午前8時30分より柏原運動公園にて行われます。市民の皆様もお気軽に見学に来て下さい。



編集後記

広報委員会を立ち上げ今年で2年目となり、本年は広報誌「火の用心」を2回発行いたします。

今号は消防団の存在意義を考えるとところから始まりました。

現在定員を満たせていない現状があり、「火の用心」を一人でも多くの方の目にとめていただき、より多くの方に入団していただけたら幸いです。

広報委員

- 粕谷 紀仁 立川 信幸 内田 欣一
- 岸本賢一郎 指田 太 岩田 洋樹
- 山下新之助 小田 裕一 浅見 宗一
- 岩城 利治